

平成23年度決算の状況

一般会計

福祉や教育など、
市の基本的な事業の会計

歳入では国庫支出金や諸収入などが予算額を下回ったものの、歳出をできるだけ節約したことから、歳入から歳出を引いた収支は、113億円の黒字となりました。



昨年度の予算は
どのように
使われたんだろう

歳入から歳出を引いた
差し引き113億円のうち89億円を
24年度に繰り越し、24億円を貯金しました。

市民1人当たりの
サービス43万円
※24年4月1日現在の人口
(国勢調査ベース)で割って算出

歳入総額8,358億円
前年度比19億円(0.2%)増

貯金
24億円

繰り越し89億円

歳出総額8,245億円
前年度比4億円(0.04%)増

市民1人当たりの
負担14万円
※24年4月1日現在の人口
(国勢調査ベース)で除して算出

構成比
33.2%

市税 2,771億円
前年の所得や所有する土地家屋に
応じて市民に納めてもらう税金

生活保護費や介護給付費
の増などにより、22年度と比
べて178億円増加しました。

家屋の新築や増築によって、
固定資産税が増加したこと
などにより、22年度と比
べて21億円増加しました。

保健福祉費 2,947億円
医療、福祉、保健などに掛かったお金

構成比
35.7%

20.6%

国庫支出金 1,723億円
国が必要だと認めた事業に対して、
国から配分されるお金

生活保護費や介護給付費
の増などにより、22年度と比
べて81億円増加しました。

公債費 960億円
施設を造るときなどに借りたお金
(市債)の返済金

11.6%

13.0%

諸収入 1,087億円
貸したお金の返済金や、
宝くじの収益金など

職員費 936億円
市の職員の給与や退職金

11.4%

12.0%

地方交付税 1,004億円
人口や税収などに応じて、
国から配分されるお金

まちづくり推進基金への積
み立ての減などにより、22年
度に比べて83億円減少し
ました。

経済費 901億円
産業を育て、経済を活性化させる
ために掛かったお金

10.9%

7.9%

市債 661億円
施設を造るとき
などに借りたお金

臨時財政対策債の減など
により、22年度と比べて112
億円減少しました。

諸支出金 862億円
特別会計や企業会計の運営を
補助するお金など

10.5%

13.3%

その他 1,112億円
国や道が市の代わりに集めた税金や、
ごみ処理の手数料など

土木費 757億円
道路の除雪や、公園などを整備するお金

9.2%

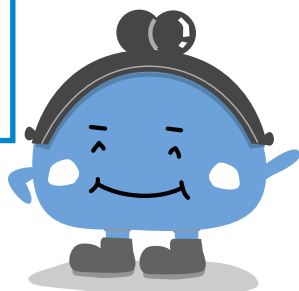
その他 882億円
教育やごみ処理に掛かったお金など

10.7%

特別会計

一般会計とは別に、
独立して経理を行う会計

8つある特別会計は、いずれも
赤字はありませんでした。



区 分	歳 入	歳 出	差し引き
土地区画整理	23.8億円	23.8億円	0円
駐車場	3.5億円	3.0億円	0.5億円
母子寡婦福祉資金貸付	2.7億円	1.6億円	1.1億円
国民健康保険	1,939.5億円	1,915.9億円	23.6億円
後期高齢者医療	196.2億円	190.2億円	6.0億円
介護保険	1,029.6億円	1,029.5億円	0.1億円
基金	12.7億円	12.5億円	0.2億円
公債	3,675.4億円	3,675.4億円	0円